

龍野古城 たつのこじょう

(別称:朝霧城、鷄籠山城など)



90min.(往復)

標高	211m
体力度	★★★★☆
技術度	★★★★☆
対象	初・中級者
駐車場	龍野公園駐車場
トイレ	龍野公園内のトイレ
備考	一部急なところがございます。



龍野古城の詳細はコチラ! 山城に登っている動画もcheck

【観光案内】たつの観光案内所 TEL.0791-63-9955

概要

主な城主：赤松村秀、赤松政秀
標高：211m
形態：連郭式山城(中世)

龍野古城(前期龍野城)は、標高211メートルの鷄籠山(けいろうざん)の山頂に15世紀に赤松村秀によって築城されたのが始まりとされています。天正5年(1577年)に羽柴秀吉の播磨侵攻によって開城となり、以降秀吉の家臣が城主を歴任することとなります。その間に城は改修され、現在見られる城の構造や石垣などが作り替えられたと考えられています。城跡全体を見ると横堀や土塁、堅堀(たてほり)などの山城遺構が残り、山城の雰囲気をも今なお色濃く感じ取ることができます。

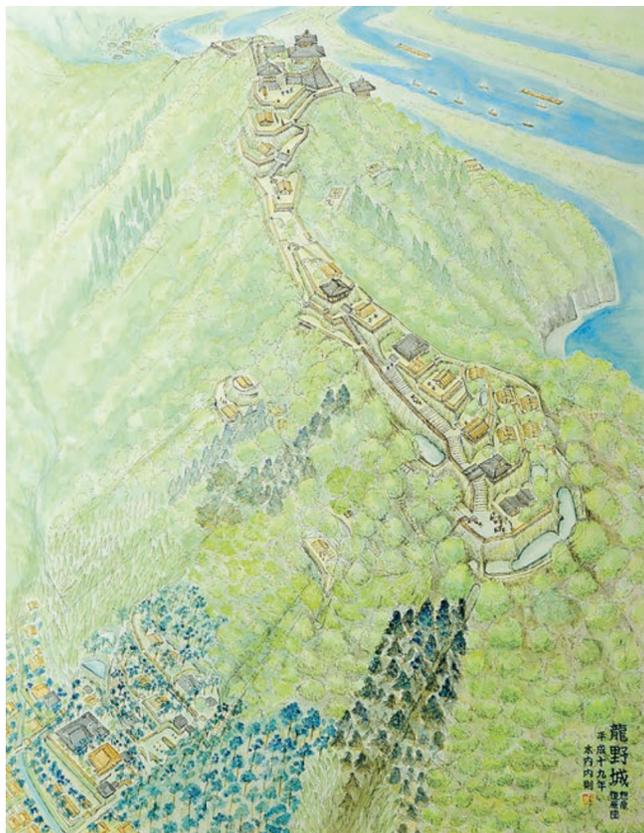
【歴史】

西播八郡の守護代を務めた龍野赤松氏の拠点として、村秀により築城されて以降、政秀、広貞、広英と4代続きましたが、秀吉の播磨侵攻の際に開城します。その後は、蜂須賀正勝、福島正則ら、秀吉一門の武将が城主となります。江戸時代になり、寛文12年(1672年)に脇坂安政が信州飯田から龍野に入部します。その際には山頂から山麓に機能が移っており、現在の位置に龍野城が整備され、明治まで使用されました。現在の龍野城は、昭和54年に本丸御殿などが復元され、内部を見学することができます。

発行:西播磨ツーリズム振興協議会
〒678-1205 兵庫県赤穂郡上郡町光都2-25 TEL 0791-58-2144
(兵庫県西播磨県民局 県民交流室 地域づくり課)



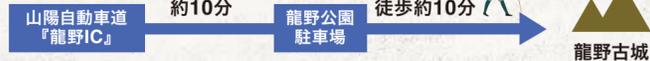
復原図



「中世播磨250の山城」(中世城郭研究者 木内内則)

登山口までのアクセス

車の場合



電車の場合



※足に自信のない人は本丸から引き返すコースがお勧めです。
足に自信のある方は急な坂道が続きますが、本丸から南方向にある龍野城に下りるコースがお勧めです。

登山の装備と持ち物チェックリスト(一例)

基本的な登山の服装や絶対に必要な持ち物のチェックリストを作成しましたので、最後のチェックにお役立てください。



山で出会う危険なもの

山登りの事前に知識を身につけて予防できることと、対応を一部ご紹介します。

- ヤマビル(6月～9月は特に注意)**
 - 肌の露出を避け、忌避剤(イカリジン・ディート等)を使用しましょう。
 - 咬まれた時は吸盤を爪でこそぎ取り、傷口を指先でつまんでヒルの唾液成分を絞り出し洗い流します。
 - 虫刺され軟膏等を塗布して絆創膏を貼ります。
 - 吸血したヤマビルは産卵して増えるので必ずその場で退治しましょう。
- スズメバチ(7月～10月は特に注意)**
 - 攻撃的で強い毒を持ち、山で出会う病害虫で最も危険度が高い生物です。
 - スズメバチを誘因しやすい黒っぽい服装や香水、ヘアスプレーは避けましょう。
 - 刺されたときは、その場からすぐに離れて流水で傷口を洗い流しましょう。下山後は医療機関を受診し手当を受けましょう。
- 毒蛇(マムシ・ヤマカガシ)**
 - 藪や茂みに入らない。
 - 咬まれたら患部付近を縛り、速やかに医療機関を受診しましょう。
- マダニ**
 - マダニに咬まれると、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つづが虫病、ライム病などの感染症に感染する危険があります。
 - 肌の露出を避け、忌避剤(イカリジン・ディート等)を使用しましょう。
 - 咬まれた時は自分で除去せず医療機関(皮膚科等)を受診しましょう。
 - ダニが媒介する感染症は死亡例もあります。咬まれた時は数週間様子を見て、発熱等あれば必ず医療機関を受診しましょう。
- クマ**
 - クマよけの鈴やラジオを携帯するなど、こちらの存在をクマに気づかせるようにしましょう。
 - 大抵の場合はクマのほうから避けてくれますが、もし出くわしてしまった場合は、クマの目を見ながらゆっくりと後ずさりして距離を取り、絶対に背中を見せて逃げないようにしましょう。
 - 子連れのクマは大変危険です。見かけても絶対に近寄らないように!
- 毒キノコ**
 - 誤って毒キノコを食べ、食中毒を起こす事例が後を絶ちません。
 - 外見で毒キノコと食用キノコを判別することは非常に困難です。
 - 山でキノコは採らない、食べない!を徹底しましょう。

毒キノコ4原則
原則1 採らない!
原則2 食べない!
原則3 売らない!
原則4 人にあげない!



デングタケ
食後30分程で嘔吐、下痢、腹痛など胃腸消化器の中毒症状が見られる。

ドクツルタケ
日本で見られる中でも危険な種類の毒キノコ。誤って食べると、死に至ることもある恐ろしいキノコです。

龍野古城 たつのこじょう

(別称:朝霧城、鶏籠山城など)

※本マップは主なルートの色付きで記載しています。

見どころポイント 01



大手道

龍野城の裏手からは大手道と伝えられています。

見どころポイント 02



本丸跡の石垣

野面石(自然のままに近い石)を積み上げた石垣が一部残っており、中世山城の趣を楽しめるポイントです。

見どころポイント 03



八幡宮跡へと続く石だたみ

八幡宮本体は今は「城山八幡宮」として麓の龍野神社の境内に遷されています。

見どころポイント 04



たてぼり 豎堀の跡

山城には敵の攻撃に備え要所には堀切や空堀があり、龍野古城では敵が横移動しにくい「豎堀跡」が今も残っています。

見どころポイント 05



大きな両見坂石灯籠

以前は左右に二つあったとされる石灯籠。この峠を境に的場山方面、北龍野方面、山頂の本丸方面の三方向に分かれます。

見どころポイント 06



とりがたわ 烏ヶ焼番所跡井戸

龍野藩主脇坂氏の上屋敷「聚遠亭」が坂下にあったため、烏ヶ焼(地名)は重要な見張りの要所でした。現在も泉水跡と井戸が残っています。

見どころポイント 07



つくば 立派な石の蹲い

かつての侍屋敷の庭にあったと思われる「蹲い」が残っており、今も溪水が引かれ手洗いなどに利用されています。
※「蹲い」とは、手を洗ったり口をすすいで清める手水をためておく鉢の事。多くは石造りで、自然石をそのまま利用したものもあります。

見どころポイント 08



侍屋敷といわれる畑跡

段々畑のように積まれた石垣は侍屋敷跡といわれ、太平洋戦争時は畑として利用されました。



※地理院タイル(標高タイル)を「Web等高線メーカー」サイトで作成

■ 主な登山ルート

■ P 駐車場 ■ トイレ ■ AR アプリ連動のARスポット



落ち葉で滑りやすいところがあります。

紅葉が見どころ

一部急なところがあります。

たつの市龍野伝統的建造物群保存地区

山城中での現在地の確認はARアプリ「西播磨の山城へGO」をご利用ください。



iOS版



Android版

※QRコードをスキャンしてアプリをダウンロードしてください。

西播磨の山城3兄弟



もみじまる 紅葉丸 | ゆめのはまる 夢葉丸 | げっこうまる 月光丸

龍野城下町のまち歩きがもっと楽しくなるアプリ「たつの市ARまち歩き」をご利用ください。



iOS版



Android版

※QRコードをスキャンしてアプリをダウンロードしてください。



本竜野駅